

～汐留シオサイト隣接地に新たなビジネス拠点～  
 (仮称) 「汐留浜離宮計画」 着工

住友不動産株式会社（東京都新宿区西新宿 取締役社長：高島準司）と汐留浜離宮特定目的会社（東京都千代田区一番町 取締役：飯村忠昭）では、都市機能が充実している「銀座地区」、「汐留地区」、「築地・浜離宮地区」それぞれの結節点となり、新橋、汐留、築地市場の3駅が利用できる利便性も高い銀座八丁目（旧竹中工務店東京本店跡）に事業機会を得て、今般、高さ約120m、地上21階の超高層複合ビルの本体工事に着手致しましたのでお知らせします。

なお、本計画は汐留地区において、汐留住友ビル（延床約3万坪）東京汐留ビル（延床約5.7万坪）について、当社が所有する3棟目の大型ビルとなります。

**【建築概要】**


&lt;完成予想パース&gt;

建設地	中央区銀座八丁目 219 番 10 他（地番）
敷地面積	4,413.39 m <sup>2</sup>
延床面積	47,968.97 m <sup>2</sup> （約 1.4 万坪）
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
規模	地上 21 階・地下 2 階
用途①	事務所（3 階～21 階）
用途②	文化・交流施設（地下 2 階～2 階）
着工	平成 19 年 3 月（本体）
竣工	平成 21 年 8 月予定
建築主	住友不動産株式会社 汐留浜離宮特定目的会社
設計者	株式会社日建設計
施工者	大成建設株式会社

**【本件に関するお問い合わせ先】**

住友不動産株式会社 広報部 担当：田中 TEL 03-3346-1042

## 【建物の特徴】

建物の3階～21階に位置するオフィススペースは、1フロア1,486㎡（約450坪）の整形・無柱空間（基準階専有面積）で、非接触ICカードリーダーや48時間無停電をはじめとする最先端設備を備え、快適なビジネス環境をサポートします。低層部には大規模な文化・交流施設（イベント・文化ホール）を配置し、公開空地と一体感のある開放的な空間をつくります。

また、建物低層部に屋上緑化を施すとともに、さらに、2階と3階との間には高さ4.65mの風抜き層を設け、ビル風の緩和を図りながら浜離宮側からの海風を銀座地区へ導き、周辺地域のヒートアイランド現象抑制に寄与するよう環境に配慮した構造としています。

## 【防災拠点としての利用】

大地震等の災害発生時には、敷地内の公開空地及びホールを一次避難所として開放し、館内利用者のみならず、周辺地域の被災者や帰宅困難者も利用できるようにします。

### ① トイレの提供

地下に災害用汚水槽（容量17㎡）を、地下2階駐車場床にマンホールトイレ4箇所を設置します。

### ② 飲料水の提供

高架水槽（20t）と地下水槽（100t）を設置し、飲料水として利用できるようにします。

### ③ 情報の提供等

ニュース等のテレビ放送を視聴できるようにするため、イベントホールにスクリーンを設置します。

## <現地案内図>

